

ボランティア紹介

ひまわり会

主に乳がんの体験者である会員が、親睦を深めながら、乳がん検査の早期受診を呼び掛ける活動を行っています。会員は、自分たちの体験を生かし「最低でも1年に1回は、検診を…、早期発見、早期治療が大切」と、普段の生活のなかで、地域の方や友人などに、検診を受けることを勧めています。

そのほかに、食事会や日帰り旅行などの交流を通しての仲間づくり、医師からの情報提供の支援、1年に2回会報誌を発行しています。

会員は「身近に同じ体験者がいることは心強い」「精神的な負担が軽減し、楽しく過ごせるようになった」と、会員同士の交流のよさを実感しながら、活動しています。団体の活動に関心のある方、悩みや心配を抱えている方など、話しをするだけでもよいので気軽に連絡ください。

問い合わせ 多治見ボランティアセンター 電話(25)1131 <担当>古山
※団体の代表者を紹介します

家族介護者リフレッシュ交流会を開催

12月17日(金)、総合福祉センター(太平町)で、高齢者の家族を介護する方を対象に、交流会を開催しました。この交流会は、介護者同士が日頃の介護体験や悩みの相談、意見交換などを通して、介護による心身の疲れを癒やし、気分を新たに介護に取り組めるように、高齢者支援センターが毎年開催しています。今回は、日本ヨーガ療法士学会の半谷明美氏を講師に招き「幸せな介護」をテーマに、ヨーガを行いました。参加者は「気持ちが落ち着いた」「普段の生活とは違い、いい機会となった」「もっと大勢の方が参加されるといい」などと元気に感想を述べ、介護と上手に向き合えるように心身をリフレッシュしました。



ヨーガを行う参加者

多治見のお元気さん

今月のお元気さんは、
民謡を披露する柴田明美さんと大野まさ子さんです。

福祉施設や敬老会で、大好きな民謡を楽しみながら披露するボランティア活動を行っています。柴田さんは30代から民謡を始め、現在は多治見市や土岐市などで教室を開き、大野さんはその教室に通う生徒です。2人は、多治見市滝呂在宅老人デイサービスセンター(滝呂町・サンホーム滝呂内)に、7年ほど前から毎月2回訪問しています。デイサービスを利用する方は、三味線と太鼓の音色、美しい歌声を披露する2人の訪問を、いつも心待ちにしています。

柴田さんたちは「民謡が絶えることのないよう、多くの人に好きになってもらいたい」と、民謡のよさを伝え、喜んでもらえるように活動を続けています。



演奏する柴田明美さん(左)と大野まさ子さん(右)

この広報紙「ふれあい」について、皆様からのご意見を募集します

本紙は、福祉に関するさまざまな情報を分かりやすくお知らせすることを目指し、毎月15日に40,600部発行しています。関心があることや知りたいこと、ご覧になった感想や改善のための意見などを電話、FAX、またはメールでお聞かせください。いただきましたご意見は、広報紙づくりの充実に活用します。

電話(25)1131 FAX(25)1132 Eメール tajimi_fureai@yahoo.co.jp <担当>古山